

研究課題名	子宮頸癌に対する画像誘導小線源治療成績の解析
実施責任者	所属・職名： 放射線科 医長
	氏名： 近藤 拓人
研究の概要	<p>子宮頸癌に対する放射線治療では、子宮腔内に線源を挿入して行う小線源治療が外照射と組み合わせて行われます。小線源治療の際、従来はX線透視を用いた2次元的位置確認、治療計画が行われていましたが、近年ではC TやMR I を施行し3次元的な治療計画を行う画像誘導小線源療法が普及しつつあります。</p> <p>当院で外照射を行い、名古屋市立大学病院で画像誘導小線源治療を行った患者さんのデータを収集・解析し、最適な放射線の照射方法を検討するものです。</p>
対象となる個人情報	年齢、性別、患者さんの状態、病期、腫瘍の大きさや部位、化学療法の有無やその内容、治療後の経過、放射線治療を行った期間、放射線量、照射方法、照射した部位
実施の期間	(対象期間) 2023 年 2 月 1 日より
	(観察期間) 2023 年 2 月 1 日より
	(対象期間) 2026 年 12 月 31 日まで

	(観察期間) 2029 年 12 月 31 日まで
研究対象	子宮頸癌に対して当院で外照射を行い、2023 年 2 月 1 日から 2026 年 12 月 31 日までに名古屋市立大学病院で小線源治療を行った患者さんが対象。